

大虎スタメン起用

このほど竣工となった西成区の福祉施設みどり苑(社会福祉法人山王みどり会)は川崎洋軒さん(23)をスカウト、オープンスタッフでの起用を約束した。みどり苑に福祉用具も扱う建築業者として出

癒し

「金魚風呂」なるものがある。聞いて訪ねた。山王一丁目の旅館明楽は戦前の木造二階建てながら、気楽できれいな日本間と豪華な家具の明るい洋室が自慢だ。浴槽に金魚が泳いでいるのかと思えば、大小二つある風呂場のそれぞれに水槽を設け、十数匹の金魚を眺めながら湯につかるという趣向。二坪ほどの大浴場は東郷青児の絵を模したタイル画もあるモダンな造り。面白いのは



隣の小さい方。洗い場の床が一部ガラス張り。でその下に水槽がある。流れるお湯越しに真上から金魚を見る格好だ。当初は多くの同業者も見学に来た名物は、当主・西村実さん(46)の養母八十八さん(77)の考案。旅館明楽を創業し、奈良の猿沢池の畔に観光旅館を建てるな

で入苑し、この度トップ会議の結果、正式に移籍が発表された。もともと学生時代に目指そうと志していた福祉の道。流されるままに運命と向き合っていた。起き事には従おうと思つて川崎さん。自分でも人や地域のために役立てるこの新しい職場に充実感や自信も感じ、二十一年たつてもやめないと思つた。理事長に感謝です。理事長は責任ある立場で頑張りたいと熱く語る。

社説

いつの時代も今がダメ?

昔は良かった話と、今の若者はダメという話はセットになつて何時の時代にも現れるよ。うだ。ギリシャ時代のプラトンは「国家」という本の中で民主制に傾倒する若者達を自堕落で勝手に年長者の意見を聞かないと今の世を非難している。エジプトのロゼッタ石に描かれた文字にも「今時はダメ」とあつたという話まである。

本当に世の中はほとんどダメになつてしまつたのだろうか。雇止め、貧困ビジネスと世がらういダメな「今」から

も若者は希望だ。世の中は浮き沈みを繰り返す。幸福な時代は長続きしない。その度に人は昔は良かったを繰り返すけれど、幸福な思いはいつの時代にも人を少しだけ幸せにする。大変だけれども若者があつた

良い時代の話を世代間で共有できれば、今という時代も若者も案外捨てたものでは無くな

求人広告

新聞記者 西成
男女問はず、経験者
山王一丁目の五三三番地
フリーキャリアプロジェクト
電話070-5046866

うしろの家

今池市場の中にある山野花店は、智子さんと雅子さんを擁する完全の二枚看板体制だ。大正五年に有志で立ち上げた当時は、タオルを貼ったモダンな市場に大阪中の関係者が見学に押し寄せた。現在も食品を中心に生活全般のものが一ヶ所所揃う市場にお客さんは途切れない。営業時間は朝八時から夜八時、定休日には月曜、火曜、水曜のみと忙しく、お正月は寝るだけの生活だ。山野花店では天王寺の問屋さんが生産者から直接買い付けた一級品のお花を仕入れている。着物が似合う花店のおばちゃん、ご主人に先立たれたことで、後家さんになつたのと語る。様々なエネルギーが渦巻く今池市場で、花は明日も咲き誇る。

ストゴ

北浜で喫茶店を経営していたハマさん(38)は友人のツテもあつて西成の新住民となつた。ビル地の地下にあつた店は周辺の証券会社や金融関連に勤めるサラリーマンやOLで大賑わい。特に風通しは大変だ。忙しさが思ひ出される。ところが銀行や郵便局が土曜日を休みにしたことや、きつかけに客足が落ち込んだ。「もうアカン」と思いつつて店を畳んで商売の立て直しを決定。住まいも移し、奥さんと共に新天地聖天下で小さな喫茶店「ストゴ」を開いた。今度は地上の店であるため店内からは一戸建の広い家も少なくない。静かな住宅街が見える。お客さんの多くは近所の主婦たちだが、聖天山公園で朝のラジオ体操を済ませたお年寄りや建築現場で働く若い職人たちがやってくるようになった。今日も道行く人の足を止めながら次第に地元馴染んでいく。

縁の食材

お食事処ことぶき(飛田本通商店街)の松岡隆宣さん(50)・久美子さん(49)夫婦が、定休日のほかに度々店を開ける理由を常連の多くは知っている。淡路島緑町にある奥さんの実家で農作業を手伝っているのだ。五月の連休の玉ねぎの取り入れから田植えの頃まではとくに忙しく、夜8時の開店後、夕食もとらずにマイカーの緑色のカリアを駆って、洗甲子園から夜行のフェリーに乗り込む。店の二階で産まれたという二代目ご主人の隆宣さんは、はじめの頃は農作業の勝手がわからずキツかつたけれど今は楽しいと笑う。ことぶきで出す米(コシヒカリ)や旬の野菜は、その8反ほどの自家農園で獲れたもの。味噌も寒仕込みの淡路産だ。「自分で作ったものが一番安心」とは久美子さん。いずれば夫婦二人、淡路島に隠居して土と暮らすことも考えている。

延命地蔵

西国八十八ヶ所参りをした人が路傍に地蔵を祀る。この地蔵と誰かが持ってきた二体の合符三休と白龍さんが祀る前に、各々お祈り。昔は押されてみさきは部屋に上つた。暗い部屋に入ると玉田はニヤリと笑っている。電気を切ると、自分の歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。

延命地蔵

延命地蔵の物語。西国八十八ヶ所参りをした人が路傍に地蔵を祀る。この地蔵と誰かが持ってきた二体の合符三休と白龍さんが祀る前に、各々お祈り。昔は押されてみさきは部屋に上つた。暗い部屋に入ると玉田はニヤリと笑っている。電気を切ると、自分の歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。

延命地蔵

延命地蔵の物語。西国八十八ヶ所参りをした人が路傍に地蔵を祀る。この地蔵と誰かが持ってきた二体の合符三休と白龍さんが祀る前に、各々お祈り。昔は押されてみさきは部屋に上つた。暗い部屋に入ると玉田はニヤリと笑っている。電気を切ると、自分の歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。

延命地蔵

延命地蔵の物語。西国八十八ヶ所参りをした人が路傍に地蔵を祀る。この地蔵と誰かが持ってきた二体の合符三休と白龍さんが祀る前に、各々お祈り。昔は押されてみさきは部屋に上つた。暗い部屋に入ると玉田はニヤリと笑っている。電気を切ると、自分の歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。

延命地蔵

延命地蔵の物語。西国八十八ヶ所参りをした人が路傍に地蔵を祀る。この地蔵と誰かが持ってきた二体の合符三休と白龍さんが祀る前に、各々お祈り。昔は押されてみさきは部屋に上つた。暗い部屋に入ると玉田はニヤリと笑っている。電気を切ると、自分の歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。朝まで歌を歌う。

珈琲 ストッブ

聖天下1丁目4-39

乗れ!編集会議

西成なるへそ新聞
【とき】12月21日(土) 12月22日(日)
【ところ】kicks 12月21日(土) たん 12月22日(日)

まほろは荘

西文章子同音の展覧会
#13
山王1-5-31 新・福寿社内

田村豆腐製造所

フキヤキ
山王2-13-28